

27 ゲージ針を用いた硝子体術中の脈絡膜剥離下液の排液に関する情報公開

1. 研究の対象

2012 年 12 月～2018 年 12 月に行われた硝子体手術において 27 ゲージ針を用いた術中の脈絡膜剥離下液の排液が行われた患者を対象として、診療情報及び手術ビデオを用いて今回の手技の効果および安全性について調べる。

2. 研究目的・方法

網膜剥離眼ではしばしば脈絡膜剥離を生じており、この存在が硝子体手術中に問題になります。また硝子体手術中に術中合併症として、脈絡膜剥離を生じることもあります。これらを術中にすぐに簡便に解決することは手術を短時間で完遂する上で重要です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：視力、眼圧、屈折、光干渉断層計画像、眼底写真、性別、年齢、病歴、手術ビデオなど

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

名古屋大学医学部附属病院眼科

tel：052-741-2111

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科眼科学 岩瀬 剛